

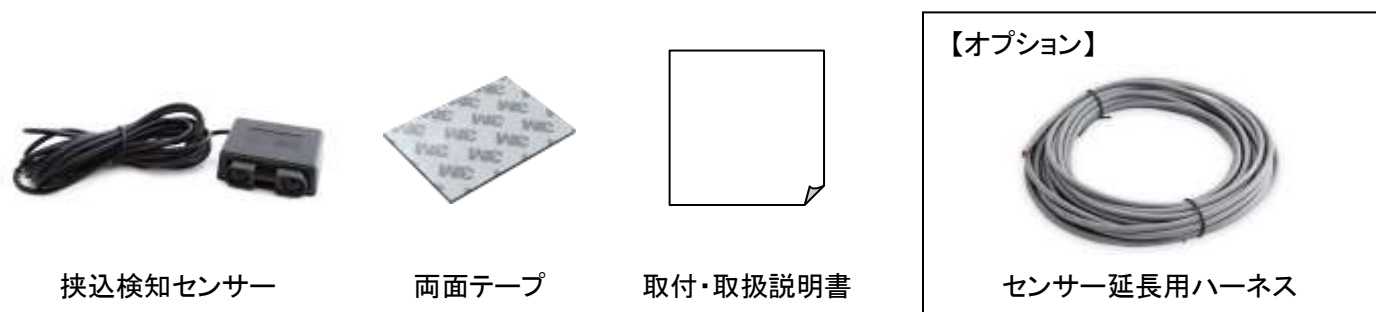
## 1. 注意事項



以下の注意事項を無視し取り付けを誤った場合、使用者が重傷を負ったり死に至る危険性があります。

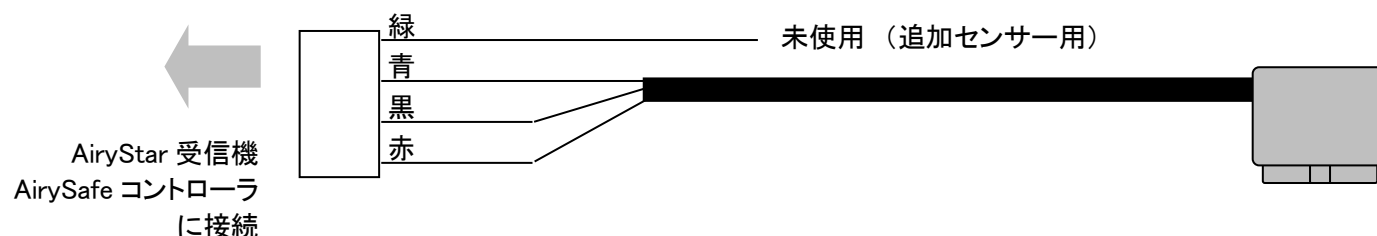
- 本体の分解や改造は、絶対に行わないで下さい。
- 本センサーが完璧に挟み込みを検知できるわけではありません。シャッターを動作させる場合は、人や物が挟まれないように十分確認して使用して下さい。
- 本センサーは、防水ではありません。屋内に設置して下さい。水濡れが故障の原因になります。
- 本製品が原因で発生したお客様の損害は、当社では一切、賠償の責を負いません。同意できない場合は、取り付け前に規定に基づき返品して下さい。
- 本センサーは、シャッターの操作スイッチが1個のものには使用できません。（停止スイッチが独立して付いているシャッターのみ適合します。）

## 2. 製品構成



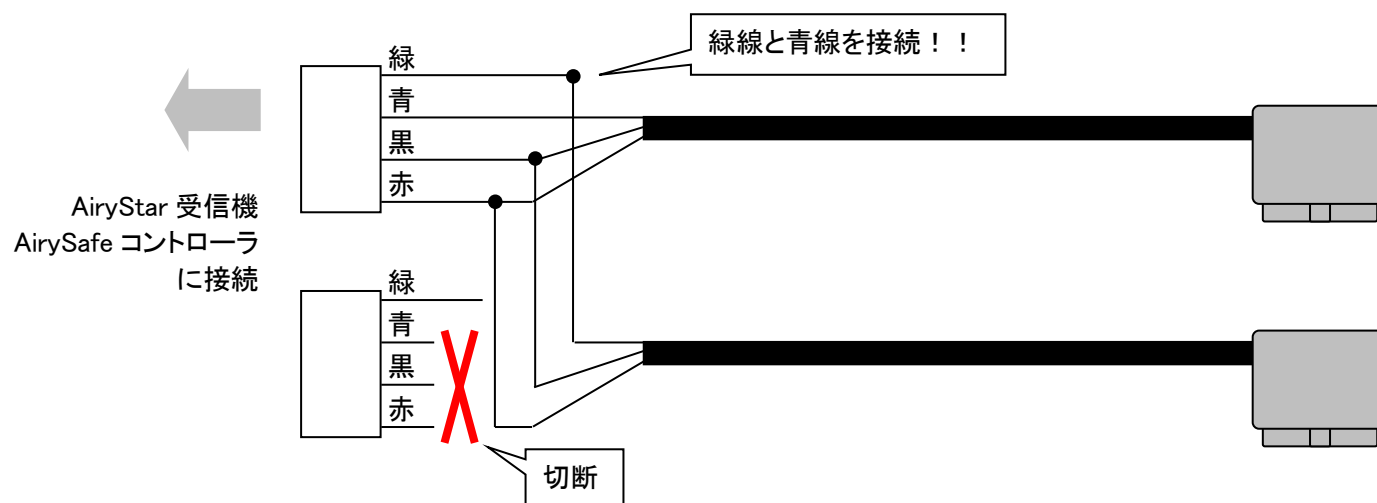
## 3. 配線方法

### ■ センサーを1個取り付ける場合

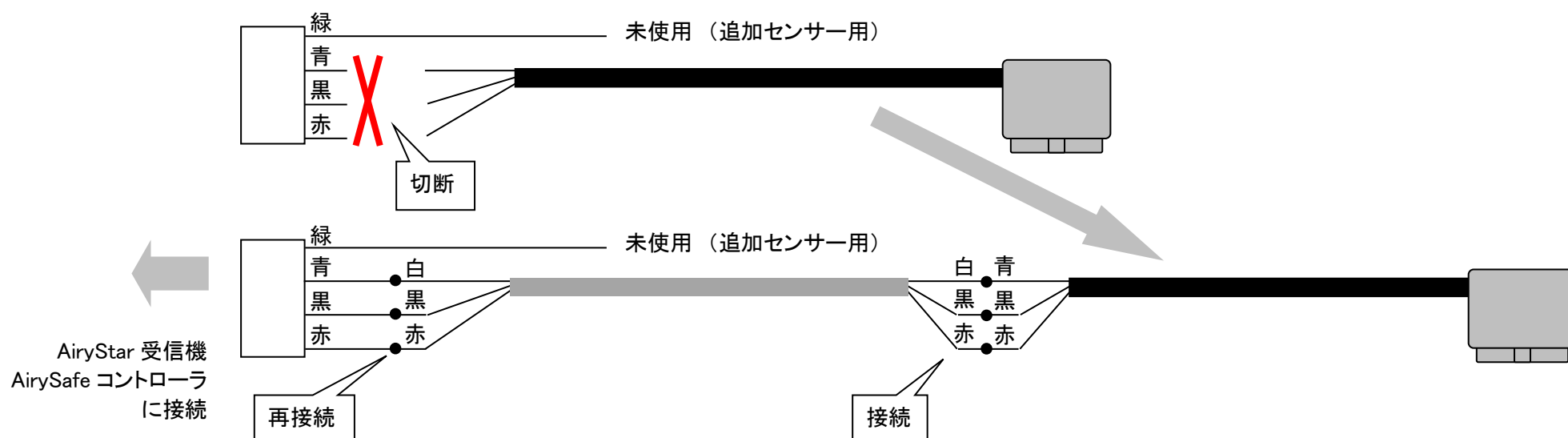


### ■ センサーを2個取り付ける場合

センサーは1個の受信機やコントローラに2個まで接続可能です。検知箇所を増やすことが可能です。片側のセンサーのコネクタを切り落とし、もう片側の線と接続します。



### ■ センサーを延長する場合

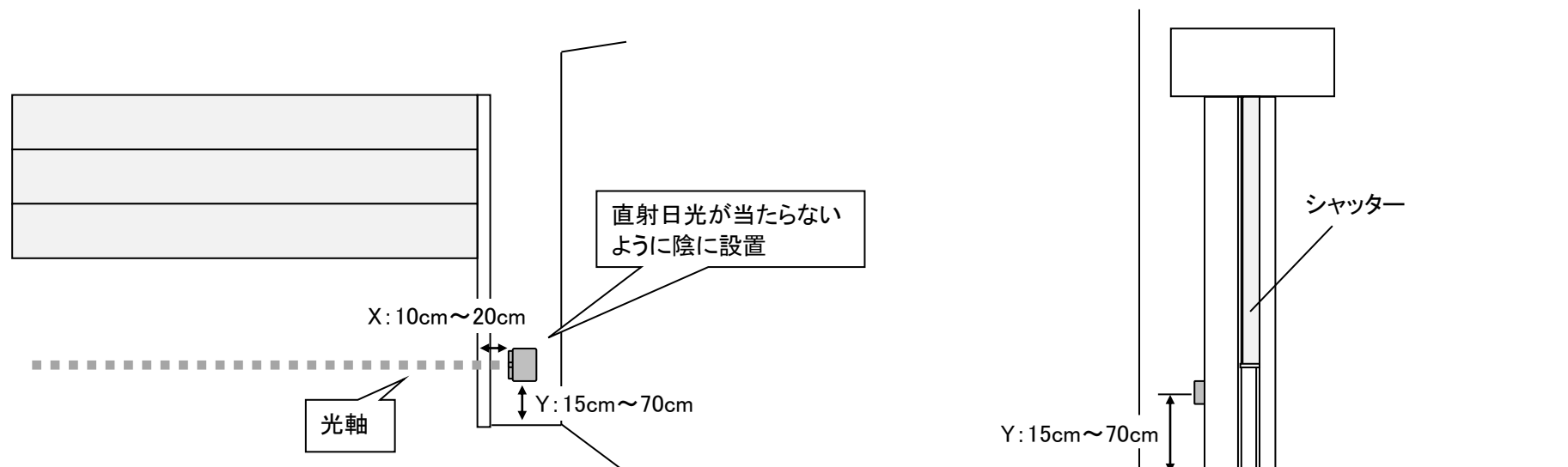


## 4. 設置方法

- ・シャッター屋内の柱などに設置します。
- ・シャッターから横向き(X)に 10cm~20cm、地面からの高さ(Y)は 15cm~70cm 離して設置して下さい。
- ・光軸が地面と平行になるように設置して下さい。また、シャッターとも平行になるように設置して下さい。

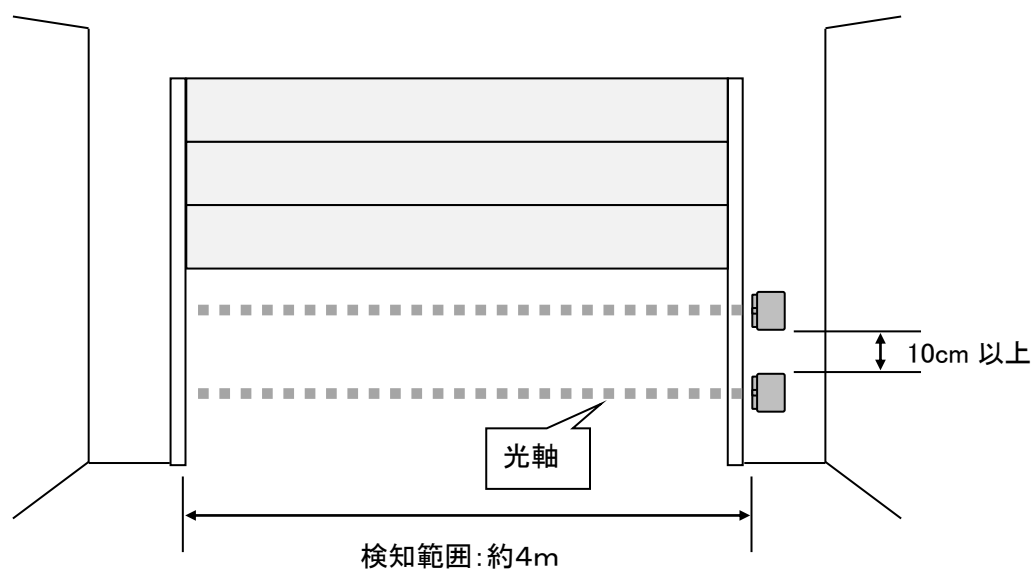
### 【注意】

- ・センサーに直射日光が当たらないようにして下さい。
- ・センサーは、両面テープで落下しないように設置して下さい。必要に応じて両面テープや接着剤を追加し、しっかり固定して下さい。
- ・センサーの側面に付いているスイッチが操作できるように設置して下さい。
- ・動いているシャッターにセンサーが反応しないように設置して下さい。



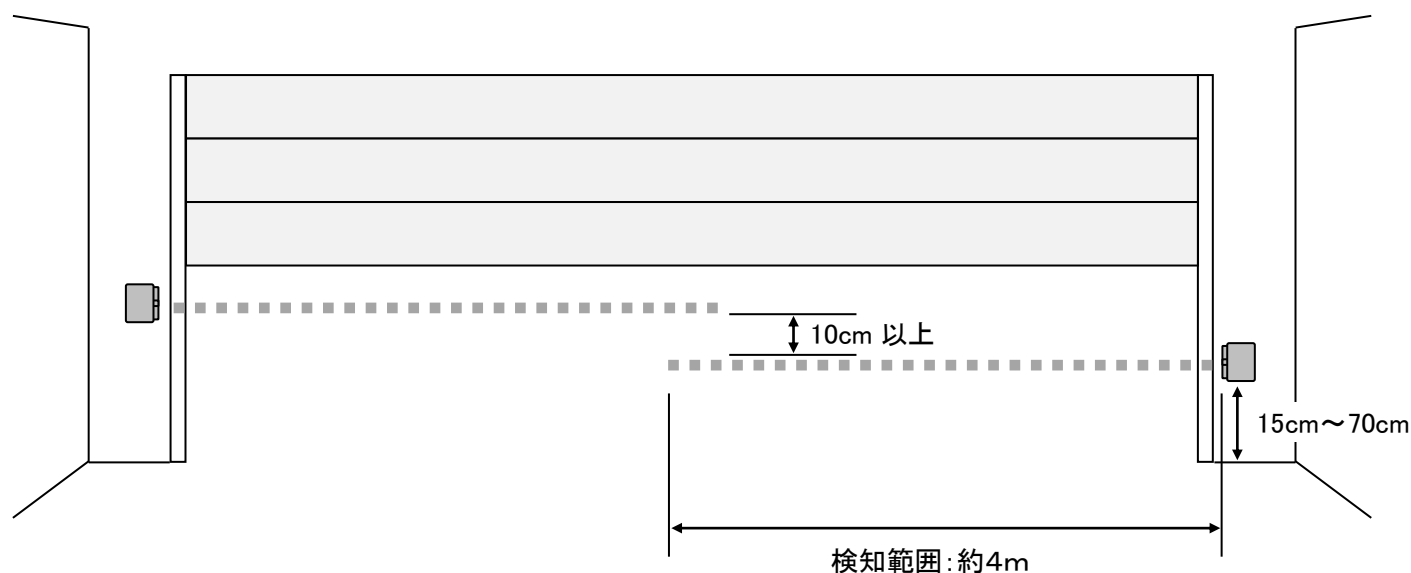
### ■ 幅が約4m以下のシャッターの場合

- ・シャッターの片側サイドに設置します。
- ・センサーを2個設置する場合は、10cm 以上離して設置して下さい。



### ■ 幅が約4m以上のシャッターの場合

- ・センサーの検知範囲が約4mですので、それ以上の幅のシャッターに設置する場合は両サイドに設置して下さい。



### 【重要】

設置が完了しましたら、必ず安全を確認して、動作確認を行って下さい。

## 5. センサースイッチについて

### ■ 機能 ON

障害物検知機能を ON にする場合、センサーに付いているスイッチを ON ( | ) 側に倒して下さい。



センサーON

### ■ 機能 OFF

障害物検知機能を一時的に OFF にする場合、センサーに付いているスイッチを OFF ( O ) 側に倒して下さい。

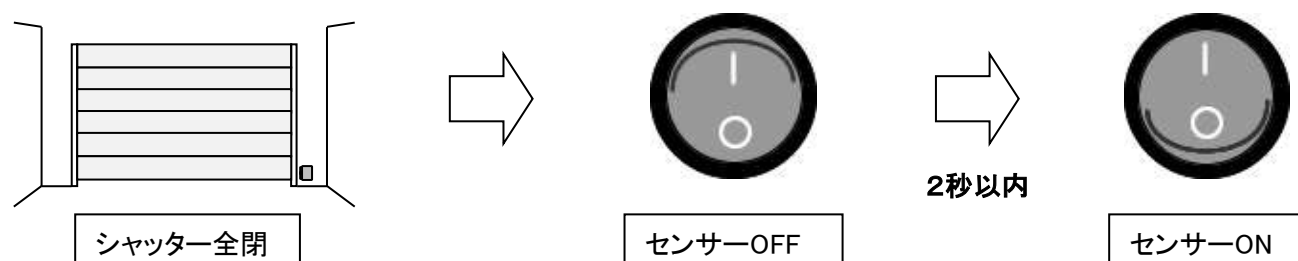


センサーOFF

### ■ 学習方法

センサーはセンサーの反対側の壁との距離を測定しています。学習操作を行うことにより、障害物が無い場合の値を記憶します。

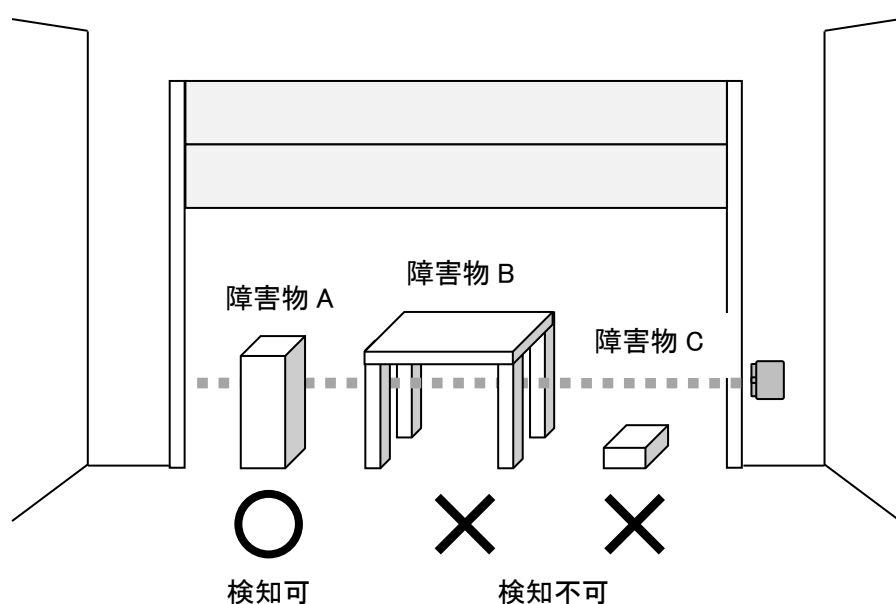
学習操作はセンサーに付いているスイッチの OFF ( O ) → ON ( | ) です。学習は何度でも可能です。学習する場合は、必ず OFF ( O ) にしてから2秒以内に ON ( | ) にして下さい。電源投入時にも自動的に学習を行います。



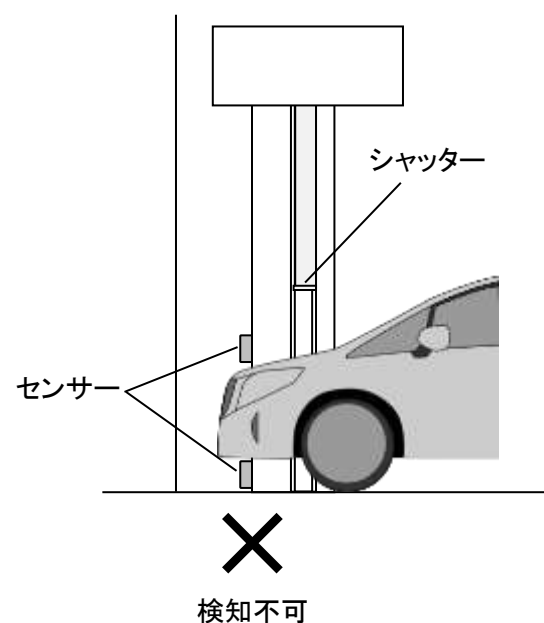
### 【重要】

- ・設置時や、センサーの位置を変更した際は、必ず学習操作を行って下さい。
- ・学習操作は必ずシャッター全閉の状態で行って下さい。
- ・スイッチを ON にする際は、シャッターが全閉であることをご確認下さい。

## 6. センサー検知に関する重要事項



障害物がセンサーの光軸上であれば検知しますが(障害物 A)、机や椅子の脚の間を光軸が通る場合(障害物 B)や、背の低い障害物の場合(障害物 C)、検知できない場合がありますので注意して下さい。



障害物がセンサーの光軸上であれば検知しますが、車両の停車位置や車高によっては検知できない場合があります。車両のボンネット部分を検知できるように高さに設置されることをお勧めします。

## 7. 動作説明と使用方法

### ■ 壁面スイッチやシャッターメーカーのリモコンで操作した場合



#### 【重要】

・シャッター開時もセンサーが検知すると、シャッターは停止します。

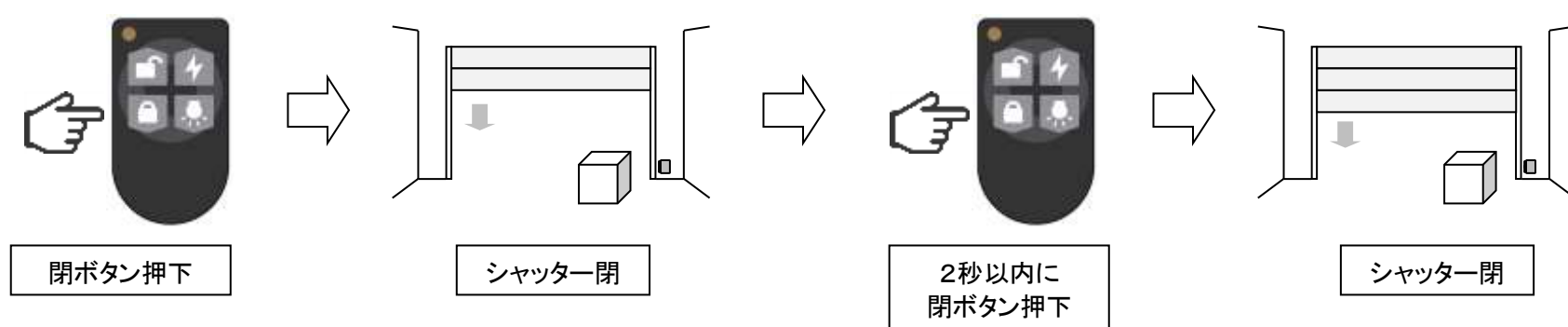
### ■ 当社製リモコン (Airy Star) で操作した場合



#### 【注意】

・閉ボタン押下後、2秒間は障害物を検知しません。  
・(※) Airy Star 受信機に付いている DIP スイッチで動作を変更できます。

### ■ 障害物がある状態でも一時的に閉めたい場合



#### 【重要】

・壁面スイッチやシャッターメーカーのリモコンでは、この操作はできません。  
・この操作を行った場合、障害物が無くなるまで、停止信号を出力し続けます。  
(Airy Star 受信機や AirySafe コントローラからリレー音が鳴り続け、障害物があることを知らせます。必要に応じて学習操作を行って下さい。)

## 8. トラブルシューティング

(症状1) 受信機やコントローラから一定間隔で「カッチ…カッチ…」というリレー音がし続ける。

センサーが障害物を検知しています。光軸上にある障害物を除けて下さい。  
また、センサーに直射日光が当たっていないかご確認下さい。  
上記以外の場合は、センサーの学習(項目5を参照)を行って下さい。

(症状2) 障害物を検知しない。

センサースイッチが ON( | )になっているかご確認下さい。  
センサーの配線の接触不良を確認し、センサーの学習(項目5を参照)を行って下さい。  
センサーが汚れている場合は、柔らかい布等で清掃し、センサーの学習を行って下さい。

(症状3) 障害物を検知した際に「カッチ」というリレー音がするが、シャッターが停止しない。

壁面スイッチの停止線に接続する部分が違っている可能性があります。別紙に従って配線の確認を行って下さい。